



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

MARUKO Weekly Report

2021-2022年度丸子RCテーマ

ロータリー活動を内外に伝え 参加する友達の輪を広げましょう



RI会長/シェール・メター

D2600ガバナー/桑澤一郎

会長/内堀敏高

副会長/服部 正

幹事/掛川浩邦

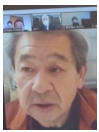
会報委員長/齊藤加代美

第2772例会

2022年3月10日 Vol. 59/No. 17

オンライン例会

【次期ガバナー補佐卓話 佐藤重喜次期補佐】



中々皆さんに次期RI会長のメッセージをお伝えする機会が無かったので本日ZOOMではございますがお伝えします。

次年度RI会長は、ジェニファーE. ジョーンズ氏 (カナダ) 女性初のRI会長です。

RI会長テーマは「イマジン ロータリー」世界にもたらせる変化を想像して大きな夢を描き、その実現のためにロータリーの力とつながりを生かすよう呼び掛けています。

会員の積極的な参加を促すためにロータリーには「適応と改革」が必要とジョーンズは述べています。

積極的な参加こそが会員の維持にとって重要であり、会員がロータリーに何を期待するかを尋ねたうえで果しがいのある責任を会員に与えることが必要。ロータリーでの参加型の奉仕、人間的成長、リーダーシップ開発、生涯にわたる友情こそが目的意識と熱意を生み出します。

ロータリーにかかわる人たち全員の貢献を大切に、公平さを助長し、人々をより暖かく迎えるインクルーシブ (な文化を創り出すことを目指しています。

ロータリーでは多様性、公平さ、インクルージョン (DEI) を重視しています。各個人がどのような人で誰を大切に思っているか、信仰や障害の有無、文化や出身国の違いといったことが重要ではありません。重要なのは地域社会とのつながりを強め、持続的な変化を見出すために行動しようとする事です。

DEIは単なる推奨される行動指針ではありません。ロータリーが現在及び将来に渡り、有意義なリーダーシップ、ネットワークづくり、奉仕活動の機会を実現するために必要な指針です。

2022-2023年度を通じて、ロータリーの全ての会員が、個人、クラブ、地区として多様性、公平さ、インクルージョンへの取り組みを実現する

事を推奨します。

- 1.ロータリーにおけるDEIについて詳しく学ぶ (定義の理解)
- 2.自分のクラブや地域にとってDEIが重要である理由と、これらの原則を取り入れることがクラブの成長と発展にどのように役立つかを理解する。
- 3.DEIについての認識を高め、理解を深める
- 4.クラブ内や地域社会内でDEIに関する行動を起こす

ロータリーDEIとは

ロータリーのあらゆる活動において、「多様性・公平さ・インクルージョン」(DEI)を受容し、行動で示すべきである。

これを確実にを行うため、理事会とDEIタスクフォースは、2019年に採択されたDEIの声明の強化に取り組み、その結果として新たな「多様性・公平さ・インクルージョンへのコミットメント」が下記の通り採択されました:

ロータリーで私たちは、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界というビジョンの実現には、多様性があり、公平で、インクルーシブ (包摂的) な文化を培うことが不可欠であると理解しています。

私たちは多様性を重んじ、すべての背景、年齢、民族、人種、肌の色、障害、学習スタイル、宗教、信条、社会経済的立場、文化、婚姻状況、使用言語、性別、性的指向、ジェンダー自認だけでなく、異なるアイデア、考え、価値観、信念を持つ人びとによる貢献を大切にします。

ロータリーへの入会、参加、リーダーシップの機会といった面で、歴史的に特定のグループの人びとが障壁に直面していたという点を認識し、すべての人が成功のためのリソース、機会、ネットワーク、支援への必要なアクセスを得られるよう、地域社会でのパートナーシップも含め、ロータリーのあらゆる側面で公平さを

促進していくことに私たちは全力を注ぎます。私たちは、すべての人が目に見える、または目に見えない本質的に独自の資質を備えていると信じています。また、自分が大切にされているとすべての人が感じ、帰属意識を持てるようなインクルーシブな文化を築くことに尽力します。高潔性というロータリーの価値観に従い、DEI（多様性、公平さ、インクルージョン）にいたる旅路において組織として自分たちがどこにいるのかを正直かつ透明性をもって見据えるとともに、これからも学び、向上し続けていくことに全力を尽くします。

ロータリーの定義とは

- 多様性：人々の生き立ち、経験、アイデンティティがさまざまであること
- 公平さ：すべての参加者がそれぞれのニーズや状況に応じて、親しみやすく生産的な経験が得られるよう様々なレベルの支援、機会、資源を提供すること
- インクルージョン：すべての人が歓迎され、尊重され、大切にされる経験を想像すること

以上、RI次年度会長ジェニファー・ジョーンズ氏からのメッセージです。

時間の関係上地区ガバナーエレクトの方針については後日発表させていただきます。

【会長挨拶】

内堀敏高会長



2か月ほど例会が休みの間に世界では色々なことが起こっています。

1番はロシアがウクライナに侵攻し市民を巻き込む殺戮を繰り返し、それでも圧倒的軍事力のロシアがウクライナの抵抗にあっている。

ロシア軍は攻めるも地獄、引くも地獄とされています。

この間、中華人民共和国の動きも不気味です。台湾、尖閣への侵攻、そして占領も考慮しておくことです。

そんな中上田市の選挙が今月末に行われます。必ず投票に行きましょう。

あとは有事に備えて体を鍛えましょう。

【感謝状授与】

ロータリー財団より

[END POLIO NOW歴史をつくるカウントダウン]支援に対する感謝状送付



米山記念奨学会より

米山特別寄付者感謝状送付

- 牧幸男さん（メジャードナー）
- 工藤洋三さん（マルチプル米山功労者）
- 山田裕さん（マルチプル米山功労者）
- 奥寺浩司さん（米山功労者）

オンライン例会の為代表して奥寺浩司さんに感謝状を贈ります



また、米山功労クラブ（第12回、クラブ寄付累計100万毎に表彰）として表彰されました。



【例会の記録】

- *SAA 栗木悦郎さん
- *司会 奥寺浩司さん
- *ロータリーソング 奉仕の理想

【出席報告】

会員数 39名（内女性7名）
本日の出席者 13名（出席率 52.00%）
修正後の出席率 70.00%

【幹事報告】

掛川浩邦幹事

今週の着信

ロータリー財団より

2020-21「ENDPOLIONOW：歴史をつくるカウントダウン」支援の感謝状送付

第2600地区ガバナーより

次年度地区役員・委員委嘱状送付

次期ガバナー補佐 佐藤重喜さん

次期学友委員長、国際室委員、危機管理委員 大森美和さん

米山奨学生世話クラブ承諾の礼状送付

ヒューストン国際大会親善朝食会の案内送付
ウクライナ支援について協議である旨の連絡
東信第1、第2グループガバナー補佐より

IM・会員セミナー参加の礼状送付

IMセミナーYouTubeにて動画配信の案内

米山記念奨学会より

米山特別寄付感謝状送付

（牧さん、工藤さん、山田さん、奥寺さん）

米山功労クラブ感謝状送付

「ハイライトよねやま」送付

今週の配信

会報第2771号（ホームページ）

【委員会報告 宮本伸司会長エレクト】



次年度地区補助金申請について

次年度も地区補助金事業を行います。内容は、「児童館の子供達と一緒に段ボールを利用してモノをつくる」ことにしました。昨年も本を贈り子供達に大変喜んでもらったので、次年度も本は贈ります。それだけでは事業になりませんので、子供達と段ボールで作ったお家や動物に色を塗ったり、絵をかいたりして遊ぼうと計画を立てています。委員長中心にご協力よろしくお願ひします。